



授業参観、講演会、学社連携人権同和教育懇談会、学年・学級PTA行われる

先週の木曜日には、人権同和教育旬間に合わせ授業参観、講演会、学社連携人権同和教育懇談会、学年・学級PTAが行われました。ご出席くださった保護者の皆様にはお忙しい中、学校へ足をお運び頂きありがとうございます。今回は参観者が少なく、学級によっては参観者がだれもない状況もありました。次回参観日は2月28日で本年度最後となりますので多くの皆様のご来校を願います。



今回の講演会では、下半身に障害を負い車椅子を使用している中田真也さんの大変明るく前向きな姿勢に学ぶべき点が多々ありました。人権という面からも、生き方という面からも大変勉強になった講演会でした。生徒たちも一緒になってのバスケットの試合も盛り上がり大変有意義な時間になりました。

その参観日の折に学年PTAにおいて本年度の県からの加配職員について説明を致しました。内容は以下のようなものですので欠席された保護者の皆様もご承知ください。

長野県では教育施策として、学力向上、配慮が必要な生徒への支援のために職員を各学校に配置して支援しています。

本校では、次のような支援加配職員が配置されています。

- ・中学校1年と2年で30人規模学級編制をしているのでそのための先生
- ・不応指導をしてくださる先生、日本語指導をしてくださる先生、理科指導支援をしてくださる先生
- ・非常勤の先生として、不登校支援の先生、生徒指導をする先生。このお二人の先生は主に相談室で見てください。



本校ではこうした支援の先生とともに成果が上がるように努力しています。

登校時間は7時以降です



11月も中旬を迎えました。日に日に日が短くなっています。朝は明るくなるのが遅く、夕方はあっという間に暗くなってしまいます。そこで、下校時刻を早めるとともに、登校時刻も遅らせました。先週の月曜日11月5日から開錠は7時10分で7時前には登校しないということにしました。この時間が守られるようお願いいたします。まだ新人戦が続いている部もあるわけですが、ご協力よろしくお願ひ致します。

11月校長講話

何かをはかる時には、道具を使い、その道具は世界中、全て同じ基準で作られています。はじめかどうかをはかる道具はありません。一人ひとりがものさしを心の中にもっていて、自分がいじめと思っていなくても、いじめと相手を感じれば、それはいじめになるのです。

聞いて嫌だと思ふ言葉があります。口に出すだけでなく、書く、パソコンやメールに書き込む、インターネット上に載せれば世界中にまわってしまいます。一度やってしまうと取り消せません。それとは逆に温かい、やさしい言葉があります。「ありがとう」「ごめん」「いてくれてよかった」「ずっと友達」など相手を認める言葉、気遣う言葉です。気遣うとは想像力を働かせることです。優しさや思いやりをもつためには、想像する力が必要です。想像する力を付けていくことが中学生には大切です。ぜひ考えてみてください。